

チェックリストの一例

評価 A (行っている) B (概ね行っている) C (行っていない)

点検項目	評価	今後の改善計画等
1 万が一事故が起こった場合に、被害を最小限に食い止めるため、「いつ、誰が、何をするのか」を明確にした保育所の実情に応じた事故対応マニュアルを作成しているか。		
2 事故対応マニュアルは、年1回以上見直しているか。		
3 事故の未然防止策をとっているか。		
(1)園内外における注意を払うべき箇所を定期的に点検し、危険箇所の改善や子どもへの注意喚起を行っているか。		
(2)「ヒヤリ・ハット」事象について、その都度、原因や経緯等を分析・精査して、再発防止策を講じているか。		
(3)食事、着替え、排泄、遊び、午睡などの各保育場面における安全に関する配慮事項は明文化しているか。		
(4)配慮事項は、職員間で確認・共有するとともに、日常の指導計画に意識的に取り入れているか。		
(5)間食も含めた食事については、その発達を考慮した食材の選定となっているか。		
(6)検食を行う責任者は、食する乳幼児の立場に立ち、調理法、大きさ、固さを自らの咀嚼、嚥下によって確認しているか。		
(7)検食結果に基づき、子どもの発達や体調に応じた(特に、発達の差が大きい乳児は個人票を作成するなどして)適切な食事環境や提供方法、見守り、援助となるように職員を指導しているか。		
(8)転倒・打撲などによる外傷や嚥下・アレルギー等に伴う事故発生時の被災児童に対する応急措置や救命法などの対応方法を、場面・状況別に整理し、職員に確実に認識させているか。		
(9)救命救急の実技研修を定期的の実施又は職員に受講させているか。		
(10)幼児には、発達に応じた自己の身の守り方について、意図的(計画的)に遊びや場所を示しながら具体的に知らせるようにしているか。また、その指導内容は記録されているか。		
(11)チェックリストに基づき定期的な点検を行い、不十分な点については早急に改善しているか。		
4 全ての職員が、事故時に一体となって迅速・的確に対応できる実践力の向上を図るために、次のような措置を講じているか。		
(1)事故発生時に備え、様々な状況(延長保育時、園長不在時等)を想定した訓練を実施し、その反省を対応に生かしているか。		
(2)事故に関する知識、応急手当やそのための器具の使用法などについて研修を行っているか。		
(3)必要に応じて、保護者・地域住民等の協力が得られる体制を整えているか。		
(4)職員間の情報伝達訓練や市町村、警察署、消防署等への通報訓練などを行っているか。		

5 事故等が起こったときに備え、次のような組織・体制が整備されているか。		
(1)直ちに園長、その他の職員に情報が伝達される体制を整えているか。		
(2)直ちに負傷者等の全体の状況を把握し、速やかに応急手当、病院等への搬送ができる体制を整えているか。		
(3)速やかに保護者に連絡がとれる体制を整えているか。		
(4)事故対応職員以外の職員で、安全な保育が実施できる体制をとっているか。		
(4)速やかに市町村に通報し、指導・助言を得られる体制を整えているか。		
(5)事故状況を記録する体制を整えているか。		
(6)情報の整理、再発防止策の検討を速やかに開始できるようにしているか。		
(7)アレルギーのある子どもなど、特別な配慮の必要な子どもに対して、個別に具体的対策がとれるようにしているか。		
(8)園内事故、園外事故それぞれの場合について適切な行動ができる体制を整えているか。		

保育所事故報告様式

自治体名					施設名		
所在地					開設（認可）年月日	年	月 日
設置者					代表者名		
入所児童数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計	
保育従事者数			名	うち保育士			名
うち常勤保育従事者			名	うち常勤保育士			名
保育室等の面積	乳児室	m ² 、ほふく室	m ² 、保育室	m ² 、遊戯室	m ²		
事故発生日時	年		月	日	時	分	
児童年齢・性別	歳	ヶ月	児	入所年月日	年	月	日
病状・死因等 (既往症)							
					病院名		
発生時の体制	歳児		名	保育従事者		名 (保育士	名)
発見時の児童の様子	体勢 (うつぶせ・仰向け等)・顔色・体温等						
発生状況 (当日登園時からの健康状況、発生後の処置を含め、可能な限り詳細に記入)	時間	内容					
発生後の対応 (報道発表予定)							

発生状況欄は適宜広げて記載するか「別紙のとおり」として別紙を作成してください。